

●巻頭インタビュー

日本を生き抜く力  
～「みやぎ外国籍県民大学」に学ぶ



李仁子さん  
大韓民国出身  
東北大学大学院教育学研究科准教授

—取材したのは当協会が今年度実施した「みやぎ外国籍県民大学」の卒業式の日です。李仁子先生にはこの事業でスーパーバイザーとしてご協力をいただきました。ありがとうございました。

私はむしろ寂しい思いをしました。スーパーバイザーという向こう側におかれたような気がして。私も一学生として参加したかったという思いがありますね。

—「県民大学」についてはまたあとでお聞きすることにして、その前にまずは来日までのことをお伺いしたいと思います。

生まれは韓国のプヨ(扶餘)ですが、育ったのはソウルです。大学では文化人類学を専攻しました。私は、移動する民、特に自由意思による移住ではなく、半ば強制的に移動を余儀なくされる人々になぜかたいへん関心があって、学生のころは朝鮮戦争で北朝鮮から避難してきた人々の村の調査やダム建設によって村ごと移住した集落の調査をしました。当時、文化人類学の学生といえどもっぱら欧米に留学するという風潮でしたが、私はちょっと違った壮大な(笑)構想を思い描いていました。日韓併合や当時の政治、社会情勢の中で韓国から中国や日本に渡っていった(または渡ることを余儀なくされた)移民がその土地にどう適応していったのか、固有の文化がどれくらい保持されているのか、そういったことを調べたいと思い、それなら欧米よりも日本の方が資料を読んだりするのに便利と考え、日本を留学先を選びました。

—当時、日本語は勉強されていたのですか。

いいえ、まったく。「言語の勉強は現地地」と思っていましたし、言葉ができないこと自体はそれほど不安に思いませんでした。それよりはるかに深刻だったのは、韓国の指導教官からの一言でした。「文化人類学者は研究先を愛さなければいけない」、と。つまりそれは「あなたは日本を愛さなければいけない」ということを意味していました。日本による植民地統治を実体験として知っている世代がまだ大勢いたこともあり、当時の韓国の風潮は控えめに言っても日本を愛することに利する要素はほとんどありませんでした。ですので、日本留学前は日本について書かれたものは意識的に読まないようにしていました。

—それで、実際に日本に来てからはいかがでしたか？

0歳になったような気分がしました。何をやるのもだれかの助けが必要で。ですので、とにかく日本語の勉強をがむしゃらにやりました。来日後しばらくは来日の目的を見失っていることにも気付かないほどアップアップでした。そんなある日、友人から「朝鮮人」という雑誌を渡されました。在日コリアンの研究雑誌でした。辞書を片手に鶴見俊輔さんらの在



「みやぎ外国籍県民大学」の皆勤賞のみなさんと記念撮影

日擁護の言論を泣きながら読みました。この本は私に来日の目的を思い出させてくれるきっかけになりました。この本との出会いがなければ今とは全く違った人生を送っていたかもしれません。

京都大学の文化人類学専攻の修士課程に合格してからは、在日コリアンのフィールドワークに勤しみました。と言っても最初は言葉が充分ではなかったので、焼肉屋さんに行ってそこの在日コリアンのおばちゃんの話や聞くというようなことでしたが。その後、在日の墓の調査をかなり力を入れてやりました。韓国人にとって墓というのはかなり重要で、異国である日本で立派に生きたことを証明しようとする思いが込められていたり、その人が日本を「ふるさと」として受け入れているかどうかを量る一つの指標となったりもします。当時在日の研究は、人権、政治、歴史からのアプローチが主流でしたので、墓の調査は非常に珍しがられ、みなさんに良くしていただきました。また、日本の先進技術に学ぶということではなく、人文学の留学生が来たということで、それを韓国の発展だとみなして喜んでくださる方々もいました。

—さて、「みやぎ外国籍県民大学」についてお伺いします。私たちにとても初めての試みでしたが、感想をお聞かせください。

日本は、手助けしてくれる時はたいへん優しいのですが、独り立ちすると突然厳しくなるように思います。その意味で、この県民大学は日本語にはもうあまり不自由なくなった外国籍県民が真に独り立ちするために背中を一押しするような意味合いを担っていたと感じました。「学生」は(図らずも全員女性の「女子大」でしたが)みなバイタリティに溢れていますね。彼女たちが地域社会で活躍するために私がお手伝いできるとしたら、彼女たちの言葉を拾って、それを社会に発信していくこと。彼女たちは移民として「日本を生き抜く力」を培っています。それは日本に生きる外国人にはもちろんのこと、日本に生きる日本人にとっても大きなヒントになるかもしれませんよ。

「みやぎ外国籍県民大学」(財団法人自治体国際化協会助成事業)は、本県の多文化共生推進の動きのなかで、これまで当事者でありながら担い手として活躍する機会の少なかった海外出身者の方たちを対象に「意見発信」の場を創出し、併せてオピニオンリーダーとしてのスキル向上を図るための研修を積んでもらうことにより、日本人と海外出身者が共に地域づくりに参画できる環境の構築に寄与することを目的とし、今年度当協会が企画・実施した。

内容は、「国際結婚・離婚・死別を巡る問題について」「改正入管法について」「子育てと教育について」「心のケアについて」「日本の冠婚葬祭の常識について」といったテーマで行政書士、弁護士など専門家の講義を受ける基礎講座と「海外出身者にも優しい医療機関を訪ねる」「多言語による相談窓口を訪ねる」「生活者支援の日本語教室を訪ねる」の先進地視察研修から構成される。

このコーナーでは、県内の国際活動団体の2010年12月～2011年1月の活動予定をご紹介します。

## MIAイベントカレンダー

2010	12	S	M	T	W	T	F	S	2011	1	S	M	T	W	T	F	S	
	12				1	2	3	4		1							1	
	5	6	7	8	9	10	11			2	3	4	5	6	7	8		
	12	13	14	15	16	17	18			9	10	11	12	13	14	15		
	19	20	21	22	23	24	25			16	17	18	19	20	21	22		
	26	27	28	29	30	31				23	30	24	31	25	26	27	28	29

※●はイベント開催予定日です。詳しい内容については以下でご確認ください。

アイコンの見方



主催



会場



時間



申し込み



参加費



電話番号



FAX番号



メールアドレス

## 12月 DECEMBER

## 12・1月 毎週土日・祝日

瑞巖寺ボランティアガイド  
※但し1月は16日から開始

- 松島善意通訳者の会
- 瑞巖寺
- 10:00～15:00
- 不要
- 無料
- <http://www.geocities.jp/matsushimagw/>

## 12月 毎週日曜日

円通院ボランティアガイド

- 松島善意通訳者の会
- 円通院
- 10:00～15:00
- 不要
- 無料
- <http://www.geocities.jp/matsushimagw/>

## 5日

青年交流(青年の立場から国際交流を考える)

- 多賀城市国際交流協会
- 多賀城市文化センター第4会議室
- 14:00～15:30
- 不要
- FAX 022-364-8096

## 6日～10日

カンボジアフェアinSELVA

- サンタピアップみやぎボランティア会
- SELVA(2Fセンターコート特設会場)
- 仙台市泉区
- 10:00～19:00
- 不要
- クラフト販売・募金活動へのご協力をお願いします。書き損じはがきの回収もします。
- 080-5220-4392
- FAX 0225-98-9878
- [info@santapi.com](mailto:info@santapi.com)

## 10日

第39回仙台YMCA国際青年クリスマス

- 仙台YMCA
- 仙台市民会館地下展示室
- 18:00～20:30
- 仙台YMCA受付にてチケットを販売しております。当日券もごさいます。
- 留学生・就学生:無料
- 学生(高校生以上):500円 一般:1,000円
- 022-222-7533
- FAX 022-222-2952
- [info@sendaiymca.org](mailto:info@sendaiymca.org)

## 11日

ワークショップ《スイス》※試飲・試食付き

- 仙台日仏協会・アリアンス・フランセーズ
- 仙台日仏協会・アリアンス・フランセーズ

- 仙台市青葉区本町2-8-10 4F
- 18:00～
- 電話・FAX・Eメールにて要予約
- ※定員になり次第締切
- 詳細は同協会ブログにて告知しています。ご参照ください。
- <http://alliancefrancaise-sendai.blogspot.com>
- 022-225-1475
- FAX 022-225-1407
- [contact@alliancefrancaise-sendai.org](mailto:contact@alliancefrancaise-sendai.org)

## 12日

クリスマス交流会

- 利府町国際交流協会
- 十符の里プラザ 3階大ホール
- 11:00～13:00
- 事務局(利府町役場企画課)
- 12月8日締め切り
- 大人800円 中学生500円
- 小学生300円 未就学児無料
- 022-767-2113
- FAX 022-767-2100

## 15日

申請取次行政書士による外国人のための入管  
手続無料相談会

- 宮城県行政書士会
- 仙台市青葉区役所 4階市民相談室
- 13:00～16:00
- 電話受付、または予約なしでも受付可能
- 無料
- 022-261-6768
- FAX 022-276-2258

## 18日

「美しきカナダ展」～豊かなる自然の恵み～  
トークイベント

- 第一部「ファインダーから見たカナダ」、  
第二部「カナダの学校、カナダの教育」
- 東北日本カナダ協会
- 東北電力グリーンプラザ
- 13:30～15:00
- 電話・FAX・Eメール(先着50名)
- 無料
- 022-799-6061(東北電力広報地域交流部)
- FAX 022-227-8390(同上)
- [w960499@tohoku-epco.co.jp](mailto:w960499@tohoku-epco.co.jp)

ノエル・パーティー

- 仙台日仏協会・アリアンス・フランセーズ
- 仙台日仏協会・アリアンス・フランセーズ
- 仙台市青葉区本町2-8-10 4F
- 未定
- 電話・FAX・Eメールにて要予約
- 詳細は同協会ブログにて告知しています。ご参照ください。
- <http://alliancefrancaise-sendai.blogspot.com>
- 022-225-1475
- FAX 022-225-1407
- [contact@alliancefrancaise-sendai.org](mailto:contact@alliancefrancaise-sendai.org)

## 26日

料理教室

- TUMCA
- 仙台国際センター交流コーナー研修室B
- 10:00～14:00
- 電話・Eメール
- 600円
- (ようこそカードお持ちのお客様:500円)
- 090-2846-3654
- [cooking\\_class@tumcaweb.com](mailto:cooking_class@tumcaweb.com)

## 1月 JANUARY

## 7日～12日

ベルリンの壁崩壊20周年記念

- 「ドイツの瞬間」写真展
- 仙台日独協会
- 東北工業大学一番町ロビー
- 10:00～20:00(最終日のみ17:00まで)
- 不要
- 無料
- 022-296-2111(事務局)
- FAX 022-296-2121(事務局)

## 11日

MIA日本語講座 特別コース(夜間初級)

- ※週1回、火曜日、3月1日まで
- 財団法人宮城県国際交流協会
- 財団法人宮城県国際交流協会
- 18:30～20:30
- 電話・FAX・Eメール
- 4,800円
- 022-275-3796
- FAX 022-272-5063
- [mia@k2.dion.ne.jp](mailto:mia@k2.dion.ne.jp)

## 12日

MIA日本語講座 特別コース(初級1・2)

- ※週4回、火～金、2月16日まで
- 財団法人宮城県国際交流協会
- 財団法人宮城県国際交流協会
- 10:00～12:00
- 電話・FAX・Eメール
- 6,000円(テキスト代別途)
- 022-275-3796
- FAX 022-272-5063
- [mia@k2.dion.ne.jp](mailto:mia@k2.dion.ne.jp)

## 14日

MIA日本語講座 特別コース(漢字1・2)

- ※週1回、金曜日、2月10日まで
- 財団法人宮城県国際交流協会
- 財団法人宮城県国際交流協会
- 13:00～15:00
- 電話・FAX・Eメール
- 2,000円
- 022-275-3796
- FAX 022-272-5063
- [mia@k2.dion.ne.jp](mailto:mia@k2.dion.ne.jp)

## 16日～31日

### カンボジア教育支援パネル展

- 👤 サンタピアップみやぎボランティア会
- 📍 仙台市市民活動サポートセンター 5F交流サロン
- 🕒 9:00～22:00(月-土) 9:00～18:00(日・祝日)
- 👉 必要なし
- 💰 必要なし。書き損じはがき・未使用切手のご提供をお願いいたします。
- ☎ 080-5220-4392
- 📠 0225-98-9878
- ✉ info@santapi.com

## 19日

- 👤 申請取次行政書士による外国人のための入管 手続無料相談会
- 👤 宮城県行政書士会
- 📍 仙台国際センター
- 🕒 10:00～12:00
- 👉 不要
- 💰 700円
- ☎・📠 022-362-7907

## 20日

- 👤 コモロの聖霊憑依
- 👤 アフリカ・セミナーの会
- 📍 仙台国際センター
- 🕒 10:00～12:00
- 👉 不要
- 💰 700円
- ☎・📠 022-362-7907

## 25～29日

- 👤 日独交流150周年記念 「ドイツ人画家による日本風景画展」
- 👤 仙台日独協会
- 📍 東北電力グリーンプラザ
- 🕒 10:00～18:00(最終日のみ16:00まで)
- 👉 不要
- 💰 無料
- ☎ 022-296-2111(事務局)
- 📠 022-296-2121(事務局)



## JICA宮城デスクからのお知らせ

※JICA=独立行政法人国際協力機構(開発途上国に対する総合的な二国間援助機関で、技術協力・有償資金協力・無償資金協力を行っています。)

# JICA - 日本と開発途上国を結ぶ架け橋として

いつもこの欄にお知らせを載せているJICA。皆さん、JICAがどんな仕事をしている組織かご存知ですか? ご存じない方のために、再度ここでご紹介します!

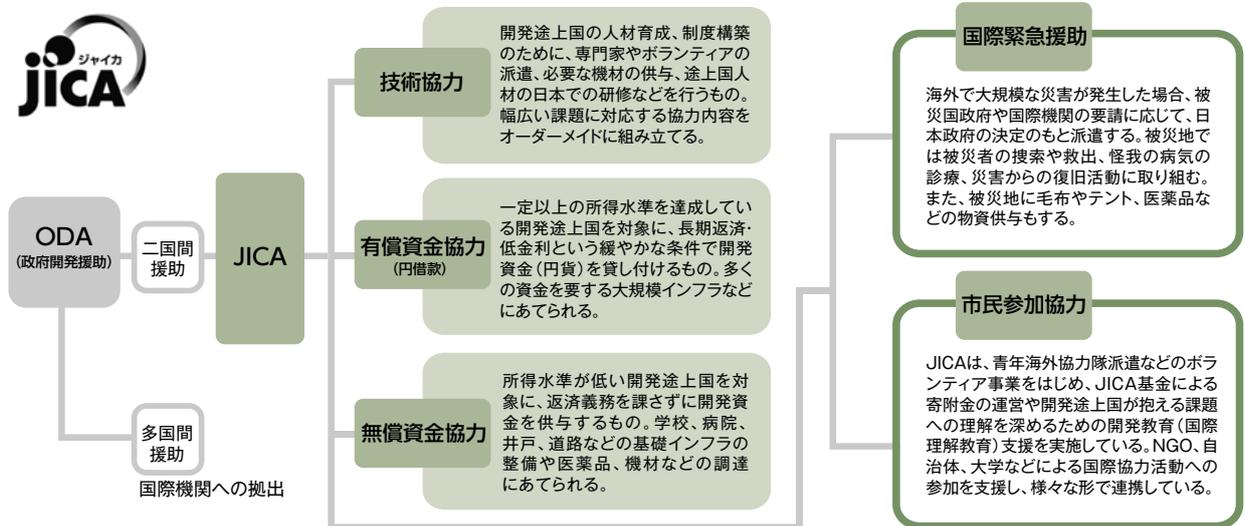
### JICAの取り組み

JICAは、日本のODA実施機関として、開発途上国への国際協力を行っています。「すべての人々が恩恵を受けるダイナミックな開発」というビジョンを掲げ、多様な援助手法のうち最適な手法を使い、地域別・国別アプローチと課題別アプローチを組み合わせ、開発途上国が抱える課題解決を支援していきます。

### ODAとJICA

日本は、1954年にコロンボプランに加盟して以来、「国際社会の平和と発展に貢献し、これを通じて我が国の安全と繁栄の確保に資すること」を目的に、政府開発援助(ODA:Official Development Assistance)として、開発途上国に資金的・技術的な協力を実施してきました。

JICAはODAのうち、国際機関への資金の拠出を除く、二国間援助の3つの手法、「技術協力」「有償資金協力」「無償資金協力」を一元的に担っています。世界最大規模の二国間援助機関であるJICAは、約100カ所にのぼる海外拠点窓口として、世界150以上の国と地域で事業を展開しています。



問い合わせ先: TEL.022-275-5540 E-mail [jicadpd-desk-miyagiken@jica.go.jp](mailto:jicadpd-desk-miyagiken@jica.go.jp) JICA東北ホームページ <http://www.jica.go.jp/tohoku>

## 多文化 な トピック

# 在留資格をご存知ですか

在留資格とは、外国人が日本に在留する間、一定分野の活動を行うことができる入管法(出入国管理及び難民認定法)上の法的資格です。この法的資格により外国人は日本に在留し、活動できるわけです。在留資格は「活動に基づく在留資格」と「身分又は地位に基づく在留資格」に大別され、前者には就労が可能な「教授」「人文知識・国際業務」「技術」などと就労ができない「留学」「家族滞在」「短期滞在」などが含まれます。後者には、「永住者」「日本人の配偶者等」「定住者」(日系3世や難民などがこれにあたります)などがあります。「留学」の在留資格を持っている留学生は、基本的に就労の資格を有していませんので、アルバイトをしたい場合は入国管理局で「資格外活動」の申請許可を取得した上で、入管法が定める就労時間内(週28時間以内)の就労が認められるという形になります。

近年、日本人との結婚で入国する外国人が増加の一途をたどっていますが、最初は「日本人の配偶者等」、数年ののち「永住」の在留資格を獲得するケースが一般的です。「帰化」はさらに本人の意思により日本国籍を取得するもので、「永住」とは異なります。



このコーナーでは、MIA宮城県国際交流協会の最近の動きをお知らせいたします。  
いずれの件も、お問い合わせは ☎022-275-3796 E-mail mia@k2.dion.ne.jp まで。お気軽にどうぞ。

## 「日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイドブック 2010 宮城」

県内各地の学校で、外国につながる子どもたちが学ぶ姿が見られるようになってきました。そうした子どもたちや保護者にとって、中学卒業後の進路を決めることは、関連する十分な情報が得られないため、大きな壁の一つとなっています。

このガイドブックは、日本の学校制度、公立と私立の違い、高校進学に必要な経費などについて、多言語(中国語、韓国語、英語、日本語)で説明したものです。「みやぎ多言語進路ガイダンス実行委員会」(MIAも実行委員として協力)が9月に実施した「進路ガイダンス」で使用する資料として作成したのですが、ウェブサイトからダウンロードできますし、下記要領でご請求いただければ、郵送することもできます。

### 〈ウェブサイト〉

日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイダンス  
<http://shinro-miyagi.jimdo.com/>

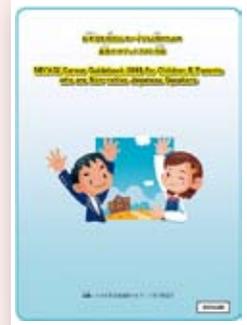
### 〈郵送をご希望の場合〉

ご希望の言語を明記したうえで、返信先の宛名を記載し送料分の切手を貼ったA4サイズの封筒をお送りください。各言語一部ずつの送付となりますので、ご了承ください。

送料:1冊 200円、2冊 270円、  
3冊 390円、4冊 390円  
(日本語版1冊のみは140円)

送付先: 〒981-0914

仙台市青葉区堤通雨宮町  
4番17号  
宮城県仙台合同庁舎7階  
宮城県国際交流協会  
企画事業課  
進路ガイドブック担当 宛



## MIA日本語講座特別コース 受講生募集!!!

今年度のMIA日本語講座特別コースは「初級1」、「初級2」、「漢字1」「漢字2」および「夜間初級」を開設します。身近に日本語を学習したい外国人がいいたら、ぜひご紹介ください。多言語(日英中韓)のチラシも用意しています。

クラス	曜日	時間	期間	回数	テキスト	受講料	定員
初級1/初級2	火~金	10:00~12:00	1月12日(水)~2月16日(水)	20回	みんなの日本語初級I・II 初級で読めるトピック25	6,000円 テキスト代は別途	24名 各クラス
漢字1/漢字2	金	13:00~15:00	1月14日(金)~2月10日(木)	5回	オリジナルプリント配布	2,000円	24名 各クラス
夜間初級	火	18:30~20:30	1月11日(火)~3月 1日(火)	8回	日本語初級I大地 (初級Iの文法項目のポイントを復習します)	4,800円	20名 1クラス

※漢字1/漢字2 祝日の関係で2月9日のみ木曜日に変更します。

## サポーターの声

### 菅井 奎さん MIA外国籍の子どもサポーター



「MIA外国籍の子どもサポーター」として、これまで2人の中国出身の中学生をサポートしました。

1人目は、とても無口な生徒で「続けられるかな?」と心配だったのですが、何度か回を重ねているうちに態度が変わってきて、次第に笑顔も見られるようになり、「気持ちを通じたのかな?」と嬉しく思いました。3年生ということで受験の準備もしなければならず、日本語の勉強以外にも面接の練習なども一生懸命しました。無事に合格したと聞いた時はほっとしましたね。

2人目のサポートは今も継続中です。こちらの生徒は明るくよく話す子で、毎回私が学校に行くのを楽しみにしてくれています。この生徒も3年生なので、受験までしっかり支えていきたいと思っています。

外国出身の子どもたちにとって、一対一で寄り添ってあげることができる「外国籍の子どもサポーター」は大変な存在だと感じています。同じ国出身ということで、安心して心を開くことができるようです。

私は人の役に立つことをするのが好きなので、このサポート活動も本当に楽しく取り組んでいて、毎回、うきうきしながら学校に行っています。私も日本での生活が長くなりましたが、日本という異文化のなかで暮らしてきた中で感じたことを、サポーターとしての活動を通して自分なりに子どもたちに伝えていきたいと思っています。

### 「MIA 外国籍の子どもサポーター」とは...

県内に在住する外国籍住民の増加に伴い、県内の小中学校では日本語学習などの支援を必要とする外国籍児童・生徒も増加しています。そうした子どもたちのために日本語教育の基礎を身に付けた人材や母語に精通した人材をサポートとして派遣することで、子どもたちの円滑な学校生活をサポートするとともに、学校現場の負担軽減に貢献しています。

## 賛助会員募集

MIA(財)宮城県国際交流協会は、県民参加の幅広い国際交流を進め、人と人の輪を広げていくために、皆様の御理解と御協力を求めています。



- 賛助会員の資格  
本協会の趣旨に賛同し、運営活動に協力していただける個人や団体(国際活動団体、企業、機関)など
- 賛助会員の区分と年会費  
個人会員 / 1口 3,000円  
団体会員 / 1口 10,000円
- 賛助会員の特典  
◎協会機関紙「みやぎの国際情報誌 倶楽部MIA」の定期送付(年6回)  
◎「MIA多言語から版」(日・英・中・韓・葡)の定期送付(年6回)

- ◎当協会主催のイベントや各種講座の案内及び参加者の減免
- ◎個人会員については協会と提携する旅行会社が指定する国内外の旅行代金の一部割引 (株)ジェイティービー 仙台支店 (株)ジェイティービー 東北石巻支店 東北海外旅行(株) 宮交観光サービス(株) (株)日本通運 仙台旅行センター
- 入会方法  
◎本協会あて御連絡ください。  
所定の申し込み用紙と振り込み用紙を送付いたします。



## 倶楽部 MIA vol.52

編集・発行 財団法人 宮城県国際交流協会  
〒981-0914  
仙台市青葉区堤通雨宮町4番17号  
宮城県仙台合同庁舎7階  
TEL 022(275)3796  
FAX 022(272)5063

E-mail mia@k2.dion.ne.jp URL <http://www.h5.dion.ne.jp/~mia>